

平成26年度の機械貿易動向について

1. 全商品貿易動向～輸出は5.4%増で2年度連続プラス、貿易赤字3分の2に減少(図表1)

(1) 平成26年度の**全商品輸出額**は、**74兆6,703億円**で、対前年度比(以下同じ)**5.4%増**と2年度連続のプラス成長となった。これは、円高是正によって円建て輸出額が増加したこと、全輸出額の19%を占める一般機械と17.4%の電気機器がそれぞれ6.3%増と増加したためである。なお、為替レートについては、年度平均で対ドル9.2%、対ユーロ4.2%の円安となり、全体では5.2%の円建て輸出額の増加要因となった。

(2) 一方、**全商品輸入額**は**83兆8,099億円**で、**0.9%減**と5年度ぶりのマイナスとなった。これは輸入額の14%を占める電気機器(5.8%増)、9%の鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(7.8%増)、8%の化学製品(5.5%増)等が増加したものの、30%を占める原粗油等鉱物性燃料(11.6%減)が原油価格下落で大幅に減少したことによる。

(3) この結果、入超額は9兆1,395億円となり、貿易赤字は昨年度のほぼ3分の2となった(昨年度13兆7,564億円の赤字)。

図表1. 全商品・機械貿易動向(年度)

		円建(億円)				ドル建(百万ドル)			
		平成25年度	伸び率	平成26年度	伸び率	平成25年度	伸び率	平成26年度	伸び率
輸出	全商品	708,565	10.8	746,703	5.4	709,273	▲ 8.5	684,931	▲ 3.4
	機械	452,633	9.0	479,053	5.8	452,980	▲ 10.1	439,342	▲ 3.0
	シェア	64%		64%		64%		64%	
輸入	全商品	846,129	17.4	838,099	▲ 0.9	845,948	▲ 3.1	770,102	▲ 9.0
	機械	221,236	25.7	233,348	5.5	221,165	3.6	213,709	▲ 3.4
	シェア	26%		28%		26%		28%	
収支	全商品	-137,564		-91,395		-136,674		-85,171	
	機械	231,398	▲ 3.3	245,706	6.2	231,815	▲ 20.1	225,632	▲ 2.7
	シェア								

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は2年度連続でプラス、輸入は5年度連続でプラス(図表1、2、3)

① 全商品輸出額の64%を占める**機械輸出額**は**47兆9,053億円**で、前年度比**5.8%増**と2年度連続でプラスとなった(平成25年度9.0%増)。

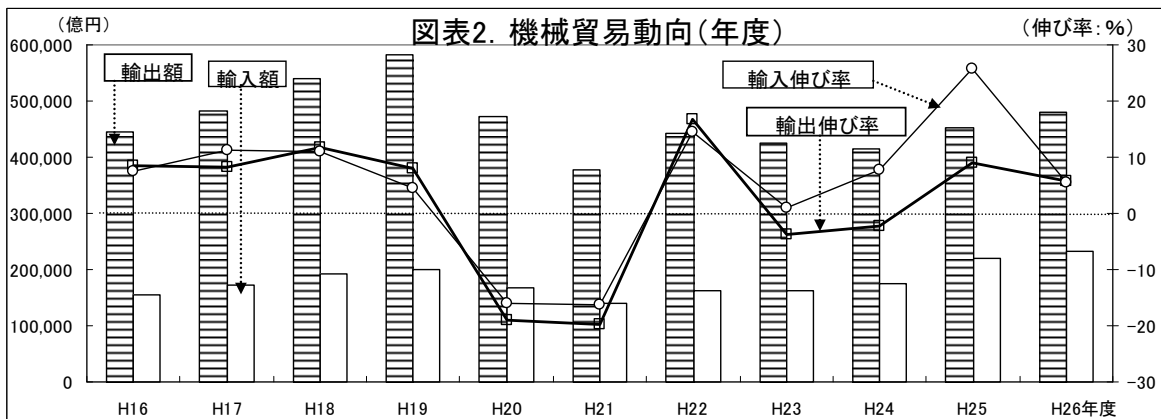
これは、円高是正効果を背景に6地域向け全てがプラスとなったこと、特に、機械輸出額の34%を占める自動車(3.7%増)、17%の産業機械(5.3%増)の2大輸出業種が増加したほか、工作機械(32.7%増)、航空機部品(18.9%増)、通信機械(16.1%増)、医療機械(19.2%増)、農業機械(21.1%増)が二桁増となったことが寄与している。

月別輸出額では、昨年9月以降7ヶ月連続でプラスとなっているものの、為替・営業日要因を除いた輸出伸び率では、2月、3月とマイナス成長が続いている。

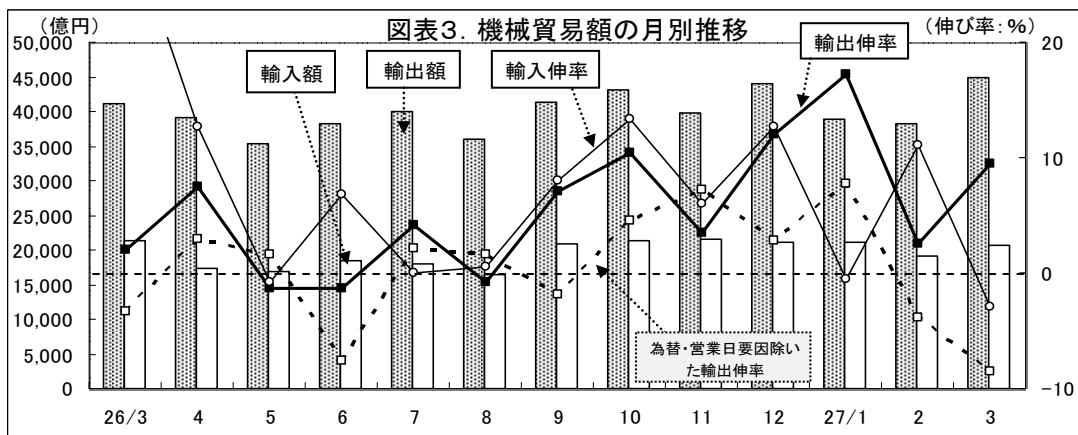
この結果、平成26年度の機械輸出額は、リーマンショック前の平成19年度の82%となり、前年度に比べて4ポイント回復した(平成25年度78%)。

② 全商品輸入額の約28%を占める**機械輸入額**は**23兆3,348億円**、**5.5%増**と5年度連続のプラス成長となり、月別輸入額は5月には駆け込み需要の反動でマイナスとなり、9月以降、電子デバイス、携帯電話等が伸び、増加したが、3月にはマイナスとなった。

③ この結果、機械貿易の黒字額は、6.2%増加して24兆5,706億円となった。



年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
対ドルレート(円)	107.5	112.8	116.9	114.9	100.6	93.1	86.1	78.9	82.6	100.0	109.2
円高(-) %	-5.3	4.9	3.6	-1.7	-12.5	-7.4	-7.5	-8.3	4.7	21.1	9.2



機械輸出伸び率 (%)	26/3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	27/1	2	3
機械輸出伸び率 (%)	2.0	7.5	-1.3	-1.4	4.2	-0.8	7.0	10.4	3.4	12.0	17.2	2.5	9.5

(2)地域別輸出動向～6 地域向け全てでプラス成長(図表4、5)

地域別動向を見ると、以下の通り。

- ① **北米向け**(シェア 24.8%)は、同地域向けの 48%を占める自動車(3.1%増)、14%の風水力機械等産業機械(8.6%増)、航空機部品(23.0%増)等が増加し、**6.8%増**となった。
- ② **EU 向け**(シェア 11.4%)は、同地域向け輸出額の 32%を占める自動車(10.4%増)や 18%の産業機械(3.9%増)、理化学用機器等軽機械(14.3%増)、建設機械(26.6%増)等が増加したため、伸び率は **7.1%増**となった。
- ③ **韓国・台湾向け**(シェア 9.1%)は、産業機械(1.5%減)、電子デバイス(3.0%減)等がマイナスとなったが、自動車(21.6%増)、重電気機械(7.6%増)、光学機械(7.0%増)がプラスとなり、**3.4%増**となった。
- ④ **中国向け**(シェア 21.1%)は、電子デバイス(8.3%増)、光学機械(9.3%増)、配電機器等軽電気機械(7.8%増)、重電気機械(15.0%増)等が増加し、全体では **5.4%増**となった。
- ⑤ **ASEAN・南アジア向け**(シェア 15.3%)は、インドネシア(6.4%減)、タイ(5.1%減)がマイナスとなったものの、シンガポール(13.4%増)、ベトナム(44.7%増)、フィリピン(16.6%増)、パキスタン(29.2%増)が大幅にプラスとなり、機種別では、産業機械(6.3 増)、電子デバイス(15.2%増)、重電気機械(6.9%増)等が大幅に増加して **7.2%増**となった。

⑥ **その他地域向け**(シェア 18.4%)は、ロシア東欧等(14.8%減)が大幅に減少したものの、中近東(19.9%増)、アフリカ(11.6%増)向けが二桁成長し、全体としては**4.3%増**となった。

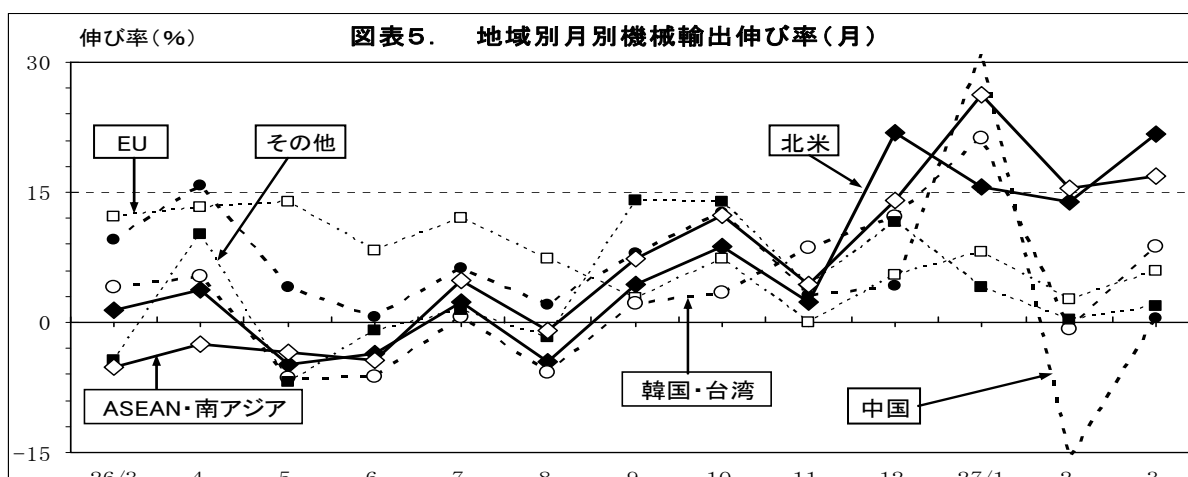
なお、リーマンショック以前の平成 19 年度の機械輸出額と比較すると、同水準を超えたのは、ASEAN・南アジア(104%)のみで、中国 99%、北米 81%、その他地域 79%、韓国・台湾 77%、EU56%であった。

図表4. 地域別機械輸出動向(年度)

(単位:億円)

輸出先	平成24年度			平成25年度			平成26年度			対19年度比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	415,324	▲ 2.3	100.0	452,633	9.0	100.0	479,053	5.8	100.0	0.82
北米	97,264	11.1	23.4	110,994	14.1	24.5	118,596	6.8	24.8	0.81
EU	44,790	▲ 14.9	10.8	50,820	13.5	11.2	54,415	7.1	11.4	0.56
韓国・台湾	38,264	▲ 7.1	9.2	42,296	10.5	9.3	43,729	3.4	9.1	0.77
中国	83,762	▲ 12.3	20.2	95,689	14.2	21.1	100,894	5.4	21.1	0.99
ASEAN・南アジア	69,297	2.9	16.7	68,521	▲ 1.1	15.1	73,461	7.2	15.3	1.04
その他	81,946	1.3	19.7	84,314	2.9	18.6	87,958	4.3	18.4	0.79

▲は、前年度比10%以上のプラス



(3) 業種別輸出動向～21 業種中 18 業種がプラス、うち二桁増が 5 業種 (図表6)

- ① 平成 26 年度は全 21 業種のうち 18 業種がプラスとなり、前年度より 1 業種増加した。
- ② 全体の 34.4%を占める自動車(3.7%増)、17%の産業機械(5.3%増)、8%の電子デバイス(6.7%増)が増加したことに加え、工作機械(32.7%増)、航空機部品(18.9%増)、通信機械(16.1%増)、医療機械(19.2%増)、農業機械(21.1%増)が二桁増加して全体を押し上げた。
- ③ 一方、民生用電子機械(3.3%減)、繊維機械(18.3%減)、鉄道車両(2.5%減)はマイナスとなった。
- ④ なお、平成 19 年度の輸出額と比較してみると、同水準を上回ったのは、航空機部品、ベアリング、光学機械、軽機械、工作機械、医療機械の 6 業種である(昨年度は 4 業種)。その一方、産業車両は 50%台、民生用電子機械、電子計算機は 40%台の低水準であった。

図表6. 上位21業種の輸出額の動き(年度)

(単位:億円)

機種名	平成24年度			平成25年度			平成26年度			対19年度		
	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額		伸び率	シェア
自動車	139,467	6.6	33.6	自動車	158,798	13.9	35.1	自動車	164,745	3.7	34.4	0.81
産業機械	69,847	▲ 9.6	16.8	産業機械	77,474	10.9	17.1	産業機械	81,567	5.3	17.0	0.91
電子デバイス	32,823	▲ 4.4	7.9	電子デバイス	35,465	8.0	7.8	電子デバイス	37,824	6.7	7.9	0.75
軽電気機械	21,488	▲ 6.4	5.2	軽電気機械	23,362	8.7	5.2	軽電気機械	24,539	5.0	5.1	0.80
重電気機械	20,757	▲ 2.7	5.0	重電気機械	22,650	9.1	5.0	重電気機械	24,463	8.0	5.1	0.97
船舶	19,724	▲ 13.7	4.7	民生用電子機械	18,735	▲ 2.1	4.1	軽機械	18,879	9.7	3.9	1.16
民生用電子機械	19,143	▲ 4.7	4.6	軽機械	17,216	10.8	3.8	民生用電子機械	18,114	▲ 3.3	3.8	0.44
軽機械	15,541	1.8	3.7	船舶	16,959	▲ 14.0	3.7	光学機械	17,946	9.8	3.7	1.19
光学機械	15,279	▲ 0.9	3.7	光学機械	16,351	7.0	3.6	船舶	17,014	0.3	3.6	0.74
建設機械	12,033	▲ 15.2	2.9	建設機械	11,444	▲ 4.9	2.5	建設機械	12,520	9.4	2.6	0.72
工作機械	9,866	▲ 1.4	2.4	工作機械	8,518	▲ 13.7	1.9	工作機械	11,304	32.7	2.4	1.13
航空機部品	5,503	21.2	1.3	航空機部品	7,281	32.3	1.6	航空機部品	8,658	18.9	1.8	1.79
通信機械	4,971	▲ 10.9	1.2	通信機械	5,913	19.0	1.3	通信機械	6,867	16.1	1.4	0.63
電子計算機	4,856	▲ 7.7	1.2	電子計算機	5,496	13.2	1.2	電子計算機	5,721	4.1	1.2	0.41
ベアリング	4,111	▲ 9.7	1.0	ベアリング	4,549	10.7	1.0	医療機械	5,266	19.2	1.1	1.06
陸用内燃機関	3,945	▲ 14.8	0.9	医療機械	4,418	14.3	1.0	ベアリング	4,995	9.8	1.0	1.23
医療機械	3,865	3.9	0.9	陸用内燃機関	4,168	5.7	0.9	陸用内燃機関	4,428	6.2	0.9	0.92
繊維機械	1,930	▲ 15.6	0.5	繊維機械	2,723	41.1	0.6	農業機械	2,297	21.1	0.5	0.96
農業機械	1,737	0.8	0.4	農業機械	1,897	9.2	0.4	繊維機械	2,225	▲ 18.3	0.5	0.71
産業車両	1,405	▲ 9.7	0.3	産業車両	1,456	3.6	0.3	産業車両	1,512	3.9	0.3	0.58
鉄道車両	576	12.5	0.1	鉄道車両	771	33.8	0.2	鉄道車両	752	▲ 2.5	0.2	0.92
合計	408,869		98.4	合計	445,646		98.5	合計	471,635		98.5	0.82

前年比10%以上の増加 ・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(4) 機械輸入動向～電子デバイス、携帯電話、自動車部品等が増加(図表7)

平成26年度の機械輸入額は5.5%増と5年度連続でプラスとなったが、昨年度(25.7%)より伸び率を鈍化させた。

①機種別では、電子計算機(3.3%減)が3年度ぶりにマイナスとなったものの、電子デバイス(8.1%増)、携帯電話(1.9%増)が増加したことに加え、自動車部品(13.4%増)、その他の配電制御装置(19.4%増)、風水力機械(13.4%増)等が二桁増加した。一方、乗用車(3.5%減)、白物家電(1.4%減)は5年度ぶり、医療機械(0.5%減)は6年度ぶりのマイナスとなった。

②地域別では、機械輸入額の42%を占める中国(4.9%増)、15%のASEAN・南アジア(9.1%増)、14%のEU(3.8%増)、13%の北米(6.0%増)、12%の韓国・台湾(6.3%増)、4%のその他地域(0.1%減)の順となりその他地域を除く他の5地域からの輸入がプラスとなった。

③なお、輸入額が輸出額を上回っているのは、電子計算機、携帯電話、航空機・部品等、白物家電、医療機械、受信変換その他送受信、配電機器、時計、通信機械部分品、TVである。

図表7. 機械輸入額上位13機種(年度)

単位:億円

平成24年度				平成25年度				平成26年度			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	20,125	3.8	11.4	電子デバイス	26,581	44.4	12.0	電子デバイス	28,744	8.1	13.0
電子デバイス	18,402	8.3	10.5	電子計算機	24,047	19.5	10.9	電子計算機	23,246	▲ 3.3	10.5
携帯電話	12,409	48.9	7.0	携帯電話	16,826	35.6	7.6	携帯電話	17,140	1.9	7.7
乗用車	8,942	19.7	5.1	航空機・部品等	11,494	32.6	5.2	自動車部品	12,961	13.4	5.9
航空機・部品等	8,669	35.2	4.9	自動車部品	11,431	36.2	5.2	航空機・部品等	11,695	1.7	5.3
自動車部品	8,390	15.1	4.8	乗用車	11,081	23.9	5.0	乗用車	10,694	▲ 3.5	4.8
白物家電	7,068	8.7	4.0	白物家電	8,752	23.8	4.0	白物家電	8,632	▲ 1.4	3.9
受信変換その他送受信	6,028	15.3	3.4	医療機械	7,352	22.9	3.3	医療機械	7,314	▲ 0.5	3.3
医療機械	5,981	12.8	3.4	受信変換その他送受信	6,193	2.7	2.8	受信変換その他送受信	6,472	4.5	2.9
配電機器	4,816	11.4	2.7	配電機器	6,071	26.1	2.7	配電機器	6,334	4.3	2.9
コンデンサー等部分品	3,625	2.9	2.1	コンデンサー等部分品	4,317	19.1	2.0	その他の配電制御装置	4,526	19.4	2.0
その他の光学機器	3,015	5.8	1.7	その他の配電制御装置	3,791	26.9	1.7	コンデンサー等部分品	4,444	2.9	2.0
その他の配電制御装置	2,989	4.4	1.7	風水力機械	3,436	29.0	1.6	風水力機械	3,896	13.4	1.8
13機種合計	110,459		62.8	13機種合計	141,372		63.9	13機種合計	146,098		62.6

前年比10%以上の増加。 民生用電気機械:白物家電

・受信変換その他送受信:ルーター、LANスイッチ等 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等